

検査指針(案)

資料5

コンクリート大割砕機及び鉄骨切断機

検査項目		検査方法	判定基準	
7.3.1 原動機	ディーゼルエンジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判定基準を適用すること。		
7.3.2 動力伝達装置	3.1パワーショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。			
7.3.3 走行装置				
7.3.4 操縦装置				
7.3.5 制動装置				
7.3.6 作業装置	(1) a 上部フレーム等	i フレー	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
		ii 取付けピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
		iii ボルト及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
	b 旋回装置及び鉄骨切断具	i 旋回ベアリング及び旋回ギヤ	①緩旋回させて引っ掛かり及び異音の有無を調べる。 ②旋回ギヤのき裂及び摩耗の有無を調べる。 ③取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。 ④ベアリングシールの損傷の有無を調べる。	①円滑に旋回し、異音が無いこと。 ②き裂又は著しい摩耗が無いこと。 ③緩み又は脱落がないこと。 ④損傷がないこと。
		ii 旋回ブレーキ	①ブレーキの効き具合を調べる。 ②旋回中の異音の有無を調べる。 ③取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①正常であること。 ①異音がないこと。 ③緩み又は脱落がないこと。
	c 油圧装置	i 旋回用油圧モーター	①パイプ及びホースとの継手部並びにシール部からの油漏れの有無を調べる。 ②作動させて無負荷及び負荷状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	①油漏れがないこと。 ②異常振動、異音又は異常発熱がないこと。
		ii 開閉シリンダー	①作動状態を調べる。 ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。	①円滑に作動すること。 ②油漏れがないこと。 ③メーカーの指定する基準値内であること。 ④打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がないこと。
		iii 回転継手・センタージョイント・スィベルジョイント	負荷をかけた状態で回転させて回転の状態及び油漏れの有無を調べる。	円滑に回転し、油漏れがないこと。
		iv 配管(ホース類、高圧パイプ)	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を調べる。 ②継手部からの油漏れの有無を調べる。 ③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。 ②油漏れがないこと。 ③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又は脱落がないこと。
	d 下部フレーム等	i フレーム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
		ii 取付けピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
		iii ボルト及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
	e 圧砕・切断部	i 圧砕・切断アーム	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②圧砕ポイントの摩耗の有無を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。
		ii カッター	①き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②カッターの隙間を測定する。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、欠け又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ③緩み又は脱落がないこと。

	f 表示板	構造規格に規定された表示板その他の注意・指示銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。
(2)ブーム等	a ブーム及びアーム	3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。	
	b リンク		//
	c ピン及びブッシュ		//
	d 散水配管	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びびねじれの有無を調べる。 ②取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。 ②取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又は脱落がないこと。
	e 安全装置等	i 角度計 ii 作業範囲制限装置	①起伏角度の範囲内でブームを起伏させ、作動状態を調べる。 ②損傷の有無及び目盛等の鮮明度を調べる。 ③取付け状態を調べる。 ①ブームを作業範囲の限界角度まで起こし、作動の適否を調べる。 ②リンク機構のき裂、変形、腐食及び摩耗の有無を調べる。 ③手でON、OFFを繰り返し、リミットスイッチの作動の適否を調べる。 ④リミットスイッチの損傷の有無を調べる。 ⑤警音器の作動の適否を調べる。 ⑥警音器の損傷の有無を調べる。 ⑦ケーブル(コード)の損傷及び断線の有無並びに絶縁の状態を調べる。
7.3.7 操作装置	操作レバー及びペダル	レバー等を操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。
7.3.8 油圧装置 7.3.9 安全装置 7.3.10 車体関係等		3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。	
7.3.11 総合テスト		走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異常発熱がないこと。

# 検査指針(案)

## コンクリート小割圧砕機

検査項目		検査方法	判定基準	
7.4.1 原動機	ディーゼルエンジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判定基準を適用すること。		
7.4.2 動力伝達装置	3.1パワーショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。			
7.4.3 走行装置				
7.4.4 操縦装置				
7.4.5 制動装置				
7.4.6 作業装置	(1) 圧砕具	a フレーム等	i フレーム き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
			ii 取付けピン ①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
			iii ボルト及びナット ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
	b 油圧装置	i 開閉シリンダー ①作動状態を調べる。 ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり及び擦り傷の有無を調べる。	①円滑に作動すること。 ②油漏れがないこと。 ③メーカーの指定する基準値内であること。 ④打痕、き裂、曲がり又は擦り傷がないこと。	
		ii 配管(ホース類、高圧パイプ) ①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を調べる。 ②継手部からの油漏れの有無を調べる。 ③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。 ②油漏れがないこと。 ③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又は脱落がないこと。	
	c 圧砕部	i 圧砕アーム ①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②圧砕ポイントの摩耗の有無を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。	
		ii ツース 脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。	
	d 表示板 構造規格に規定された表示板その他の注意・指示銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。		
	(2) ブーム等	a ブーム及びアーム 3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。		
		b リンク "		
c ピン及びブッシュ "				
7.4.7 操作装置	操作レバー及びペダル	レバー等进行操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。	
7.4.8 8油圧装置	3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。			
7.4.9 安全装置				
7.4.10 車体関係等				
7.4.11 総合テスト	走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。		各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異常発熱がないこと。	

## 検査指針(案)

### つかみ機 (内部シリンダー作動型)

検査項目		検査方法		判定基準	
7.5.1 原動機	ディーゼルエンジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判定基準を適用すること。			
7.5.2 動力伝達装置	3.1パワーショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。				
7.5.3 走行装置					
7.5.4 操縦装置					
7.5.5 制動装置					
7.5.6 作業装置	(1) つかみ具	a 上部フレーム等	i フレーム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
			ii 取付けピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
			iii ボルト及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
		b 旋回装置	i 旋回ベアリング及び旋回ギヤ	①緩旋回させて引っ掛かり及び異音の有無を調べる。 ②旋回ギヤのき裂及び摩耗の有無を調べる。 ③取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。 ④ベアリングシールの損傷の有無を調べる。	①円滑に旋回し、異音が無いこと。 ②き裂又は著しい摩耗が無いこと。 ③緩み又は脱落がないこと。 ④損傷がないこと。
		c 油圧装置	i 旋回用油圧モーター	①パイプ及びホースとの継手部並びにシール部からの油漏れの有無を調べる。 ②作動させて無負荷及び負荷状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	①油漏れがないこと。 ②異常振動、異音又は異常発熱がないこと。
			ii 開閉シリンダー	①作動状態を調べる。 ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。	①円滑に作動すること。 ②油漏れがないこと。 ③メーカーの指定する基準値内であること。 ④打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がないこと。
			iii 回転継手・センタージョイント・スィベルジョイント	負荷をかけた状態で回転させて回転の状態及び油漏れの有無を調べる。	円滑に回転し、油漏れがないこと。
			iv 配管(ホース類、高圧パイプ)	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を調べる。 ②継手部からの油漏れの有無を調べる。 ③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。 ②油漏れがないこと。 ③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又は脱落がないこと。
		d 下部フレーム等	i フレーム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
			ii 取付けピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
			iii ボルト及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。

	e	つかみ音	i	つかみ アーム	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②つかみポイントの摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ③緩み又は脱落がないこと。	
			ii	つかみ リンク	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②取付けピンの変形及び摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ③緩み又は脱落がないこと。	
			iii	ツース	脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。	
		f	表示板	構造規格に規定された表示板その他の注意・指示 銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。		
(2)ブーム等	a	ブーム 及びアーム			3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。		
				b	リンク		"
				c	ピン及 びブシュ		"
7.5.7 操作装置	操作レバー及びペダル		レバー等进行操作し、ストロークの適否及びがたの有 無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。			
7.5.8 油圧装置 7.5.9 安全装置 7.5.10 車体関係等			3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。				
7.5.11 総合テスト			走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異 常発熱がないこと。			

# 検査指針(案)

## つかみ機(外部シリンダー作動型)

検査項目		検査方法	判定基準		
7.6.11 原動機	ディーゼルエンジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判定基準を適用すること。			
7.6.2 動力伝達装置 7.6.3 走行装置 7.6.4 操縦装置 7.6.5 制動装置	3.1パワーショベル及びブドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びブドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。				
7.6.6 作業装置	(1) つかみ具	a フレーム等	i フレーム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
			ii 取付けピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
			iii ボルト及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
		b つかみ部	i つかみアーム	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②つかみポイントの摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ④緩み又は脱落がないこと。
			ii つかみリンク	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②取付けピンの変形及び摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ③緩み又は脱落がないこと。
			iii ツース	脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。
		c 表示板	構造規格に規定された表示板その他の注意・指示銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。		損傷がなく、適正に取り付けられていること。
		(2) ブーム等	a ブーム及びアーム	3.1パワー・ショベル及びブドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びブドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。	
			b リンク	"	
			c ピン及びブシュ	"	
7.6.7 操作装置	操作レバー及びペダル	レバー等进行操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。		
7.6.8 油圧装置 7.6.9 安全装置 7.6.10 車体関係等	3.1パワー・ショベル及びブドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びブドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。				
7.6.11 総合テスト	走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。		各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異常発熱がないこと。		